

中間報告

南房総市総合計画重点プロジェクト策定
職員ワーキングチーム
移住・定住班

0

令和4年3月28日（月）

市民ワークショップからの意見 (解決したい課題等)

課題の前にターゲットを決めるべき！！

- ➡ 「南房総市への移住希望者」、「Uターン希望者」、「移住後馴染めてない人」を対象。※共通のターゲットは20代～30代。

1. 本市への移住希望者全般の課題

総合的な暮らし方に関する情報不足(地域が見えない)。賃貸物件の不足。

2. Uターン希望者の課題

市内在住者が本市の魅力に気づいていない。地元へ帰ること、残ることに親世代が反対など。

3. 移住後馴染めてない人の課題

コミュニティに触れるための情報や機会が少ない。(移住者、移住希望者や地元住民をつなぐ仕事・スペース・人など)

市民ワークショップからの提案

【その1】

移住希望者の移住ハードルを下げる

- ・ 移住に繋がる総合的な情報発信の充実
- ・ 空き家バンク情報の充実
(掲載物件を増やす取組)

【その2】

移住希望者が移住・定住できるようにする受け皿づくり

(住まい、仕事、コミュニティ)

- ・ テーマ別マッチングツアー
(空き家・仕事)
- ・ テーマ別ワークショップ/イベント
- ・ 空き家を活用したD I Yワークショップによる若者世代向けシェアハウス建設
- ・ 移住した人への補助金
(空き家リフォーム等)

移住・定住施策への共有

■ 市民ワークショップからの共有事項

「ターゲットを設定する」 ※！

「移住・定住のハードルを下げる」

「移住希望者への受け皿づくり」

移住・定住班のターゲット年齢層

※！

現在は、それぞれは分断され、別物として戦略立案と実施が行われている

これからは、それぞれを結合し、戦略立案と実施を一連の流れで行う

観光
(来訪人口)

交流
(関係人口)

移住
(定住人口)



20から39歳の関係人口～

観光
(来訪人口)

交流
(関係人口)

移住
(定住人口)

人流市場

職員ワーキングチームでの協議・検討

- ターゲットは観光などを通じて「本市への暮らしや移住に興味を持っている人～移住をある程度決めている人」が良い。
- 課題としては、空き家は多いが賃貸物件は少ない。移住に関連する情報が少ない。移住して活躍している人が見えない。
- 施策の目的としては、「移住・定住に関する情報発信」や「移住しやすい環境づくり」が良い。

移住班・定住班施策の方向性

■【施策案及び主要な事業案】

「移住・定住に関する情報発信の充実」

- ①移住・定住に関する情報発信
- ②空き家バンクの充実

幅広く子育て世代へ情報発信

「移住しやすい環境づくり」

- ③暮らし体験マッチングツアー
(空き家・仕事・教育など)
- ④各種ワークショップ・イベント支援
(DIY・農業体験など)
- ⑤移住フォローアップ補助金

(交流人口)

関係人口

定住人口

施策名：移住・定住に関する情報発信の充実	担当課：①企画財政課 ②建設課 + 関連部署
----------------------	------------------------

ポイント	本市への移住に興味を持っている人に継続的に情報を発信することにより、本市への意識を常に向けさせる。 また、情報発信を充実させることにより、情報発信力を高め、本市の魅力をPRする。
------	---

目的	本市への移住に興味を持っている人に、移住の気持ちを後押しする情報を発信する。		概要	①移住・定住に関する情報発信 ②空き家バンク情報の充実	
詳細	①移住・定住に関する情報発信 ～南房総市の魅力を発信		予算額 サイト維持費500万円	②空き家バンク情報の充実 ～眠っている空き家の活用	
	シティプロモーションサイト ・移住者紹介 ・医療 ・保育、学校、教育 ・支援、補助金 ・イベント情報の告知や開催時状況の報告 ・移住者と移住希望者のマッチングの場 ・事業者紹介			空き家の掘り起こし 空き家の所有者に対しての情報発信 ・固定資産税納税通知書の活用 ・所有者への説明会、相談会 ・ホームページ	
効果	地域に見える化をすること本市の認知度が向上し、本市への移住に興味を持つ人～移住希望者への増加につながる。				

施策名：移住しやすい環境づくり

担当課：企画財政課＋関連部署

ポイント

移住・定住による本市来訪の第一歩として、観光要素も含めた目的別マッチングツアーを実施。
テーマ別にすることで関心が高い層を取り込む。

目的

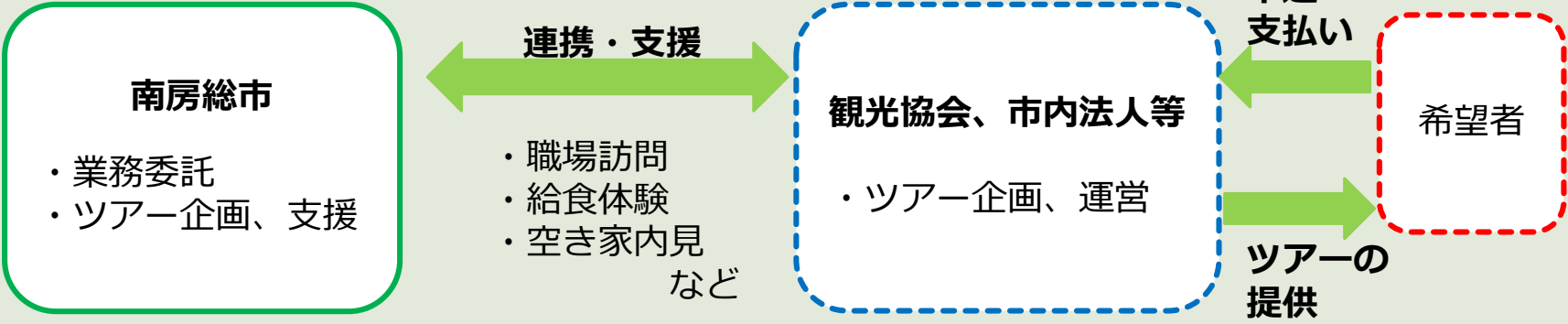
本市へ訪問するきっかけを作り、移住・定住のハードルを下げる。

概要

市観光協会や市内法人等とともに、暮らしにつながる各種ツアーを企画運営する。

詳細

【暮らし体験マッチングツアー】（予算額500千円）



効果

ツアー内で本市の暮らしや資源に触れることで、関係人口の増加につながる。

施策名：移住しやすい環境づくり

担当課：企画財政課・観光プロモーション課・市民課
+関連部署

ポイント

移住しやすい環境づくりを目的として、地域団体が行う各種ワークショップ・イベントへの支援を行うことで、移住希望者の受け皿を創出する。

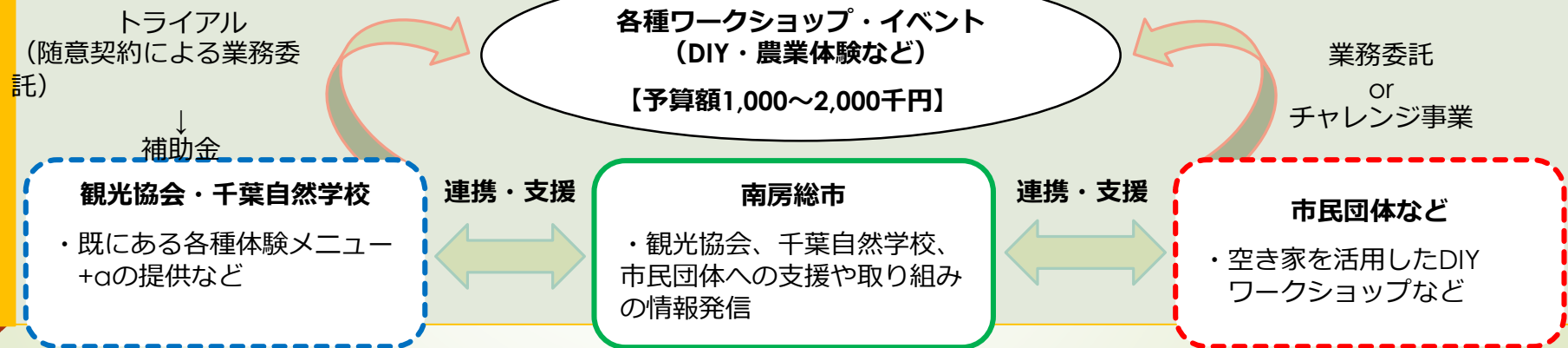
目的

知り合いができるイベント支援をすることにより、移住定住のハードルを下げるとともに、移住定住の受け皿となるよう支援する。

概要

移住定住の受け皿づくりのため、千葉自然学校や観光協会、市民団体が開催するワークショップやイベントを支援する。また、まちづくりチャレンジ事業の周知を図り、事業の活性化により更なる受け皿を創出する。

詳細



効果

継続的に本市を訪れる仕組みをつくることで、関係人口から定住人口の増加へつなげる。

施策名：移住しやすい環境づくり

担当課：建設課、商工課

ポイント

空き家に絡めた支援メニューを用意することで、移住・定住支援だけではなく、居住物件としての空き家の利活用を活性化。

目的

本市への移住希望者に対し、移住・定住への後押し及び市内で不足する居住用物件の解消を図る。

概要

空き家に絡めた各種補助金を新設する。

【移住フォローアップ補助金】（予算額未定）

詳細

①空き家リフォーム補助金（1,000千円）※新設
39歳以下または15歳以下の子を持つ世帯/安房地域外からの転入者
空き家バンクに登録されている売買物件を対象

②起業家支援事業※拡充
補助金額上限1,000千円（基本部分）
空き家バンク登録物件を事業所とした場合、加算額300千円を追加

効果

- ・移住希望者及び移住者への支援の選択肢を増やすことにより、本市への定住につながる。
- ・空き家バンク物件登録のメリットにつながり、登録物件増加に寄与する。

